

令和3年度 第3回 安曇野暮らし支援協議会 会議概要

- 1 審議会名.....令和3年度...第3回 安曇野暮らし支援協議会...
- 2 日 時.....令和3年12月13日 午後1時30分から午後3時30分まで...
- 3 会 場.....安曇野市役所...3階...共用会議室306...
- 4 出席者.....横田会長、北林副会長
浅川委員、醍醐委員、中嶋委員、高山委員、宮澤委員...
- 5 市側出席者...丸山政策経営課長、大月課長補佐、柳澤主査...
- 6 公開・非公開の別.....公開...
- 7 傍聴人 0人.....記者 0人...
- 8 会議概要作成年月日.....令和3年12月13日...

協 議 事 項 等

[次 第]

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議事項
(1) 安曇野市オンライン移住セミナー（案）について
(2) 安曇野市 冬の体験ツアー（案）について
(3) その他
- 4 閉 会

[会議概要]

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議事項
(1) 安曇野市オンライン移住セミナー（案）について
事務局より「資料1」に沿って説明。
 - ・（事務局）今回のセミナーは若い年齢層を対象としたい。オンライン移住相談で質問項目が多かったものを中心に進めたい。
 - ・（事務局）「住まいについて」、委員さんの中から協力していただきたい。効率的な物件の探し方や物件探しの際、気を付けること、移住者に人気のエリアなどお話しただけであればありがたい。
 - ・（事務局）移住体験談を設けているが、どなたか紹介していただける方はいるか。今回の協議会の後、趣旨に合った方に声をかけていきたい。既に委員の皆さまには照会しているが、まだ紹介いただけていない。改めてお願いしたい。
 - ・（委員）オンラインセミナーの募集定員は30組でよいのか。オンラインならば制限はないのではないか。
⇒（事務局）質問等の数も考慮し、30組とさせていただいた。

- ・（委員）セミナー原案について、ありきたりなセミナーという感想。移住にあたって仕事が第一に優先される。仕事があることを前提に移住は考えられるものであり、子育てや住まいはその後に考えられるものだ。セミナーでは、転職後どう働いているのかであったり、仕事の探し方、どんな職があるかを中心に紹介した方がよいのではないか。

⇒（会長）仕事を中心に組んでみることで検討したいがいかがか。出演者を委員から紹介してもらえればありがたい。なお、市では移住者の追跡はできているのか。

⇒（事務局）追跡は行えていない。今回のセミナー原案は、体験ツアーにつながる形として考えていた。セミナーで扱うテーマは、委員に絞っていただきたい。
- ・（委員）セミナーの中で、企業の社長に出てもらうことでもよいのではないか。その場で企業説明会のような形にしても。

⇒（委員）セミナーはジャンル広めにして、体験会は本気度の高い方を対象にすることも一案。

⇒（委員）子育てをしている市議会議員でもよいかと。

⇒（事務局）議員という職が一般的ではないので難しいのではないか。

⇒（委員）安曇野市在住で、松本市が勤務地の方などもよいパターンかと思われる。松本市も通勤圏内ということはあまり周知されていないのでは。

⇒（事務局）セミナーに出ていただく人は、尺の都合で3人が限度と思われる。原案から削るのは、市の概要、子育て、住まいあたり。

⇒（副会長）飲食店関係はこちらから紹介できる。前回お話していただいた中古住宅をリノベーションして営業している店舗なども声掛けはできる。

⇒（委員）就農関係は紹介しなくていいのか。

⇒（事務局）農地の最低取得面積や複数の要件など新規就農はハードルが高い。

⇒（委員）通常、就農するより就職するの方が大多数でもある。

⇒（事務局）今回挙げていただいた「就職」を絡めた移住体験談をお話していただく方を、改めて委員さんから紹介していただく。その中で3人を選ばせていただく。報告期限は今週中をお願いしたい。

（2）安曇野市 冬の体験ツアー（案）について

事務局より、資料2に沿って説明。

- ・（会長）事務局から示してもらった原案に対して意見等頂戴したい。体験会で一番盛り上がるのは宿での食事会だが、コロナ禍を考慮し今回は交流会とする。
- ・（副会長）前回の定員は10組20名であったが、今回はコロナに配慮して5組10名としている。観光協会の旅行商品となる中、どうやって採算を取るかが課題。

⇒（会長）5組10名としているが、それ以上の人数は可能か。

⇒（副会長）10名はあくまで目安、ある程度増やすのは可能ではある。
- ・（事務局）原案では空き家活用宅への訪問としているが、コロナ禍で行うことが難しいことも考えられる。空き家活用店舗への訪問に変更することも考える。

⇒（委員）国営公園で市の全体模型を見に行くこともよいが、時間がかかる。市役所の展望テラスから見ていただくことでもよいのではないか。
- ・（委員）若い人がターゲットということを確認にするのか。前回は3割くらいがリタイア組、一番盛り上がっていた層でもある。

⇒（事務局）内容を若い人向けにしており、実質そのような形となっている。

⇒（副会長）若い人に絞ったことによる検証の意味合いもある、どれだけ人が集ま

るのか。

- ・ (委員) 企業の社長を複数呼んでもよいのではないか。そこで仕事のマッチングができるのであればなおよい。
⇒ (事務局) 職の確保が移住の最優先事項であることは理解しているが、今回は職探しのツアーでなく、安曇野の雰囲気を感じていただくことが目的。別に設けた方が効果的かと思われる。

- ・ (事務局) こども園を2か所としたが、他によい場所があればと思うがいかがか。
⇒ (委員) 売物件でない、見せることができる空き家があればよい。
⇒ (事務局) 市が管理している空き家は見せられる可能性はある。
⇒ (委員) 状態の悪い物件だけ見せるとイメージダウンにつながるおそれがある。
⇒ (委員) 都市部の母親は幼稚園に入れたがる人も少なくない。野外保育を行っている森の子を見せるのはいいかもいれない。安曇野市には幼稚園はあるが、保育園と大差がない。野外保育を行っている森の子と普通の保育園。もしくは、子どもが遊ぶ場としてのかじかの里などの公園を紹介してもよいのでは。
⇒ (事務局) 複数のご意見が出たが、いかがか。
⇒ (委員一同) 森の子と公立こども園でよいのではないか。
⇒ (事務局) それでは、森の子と公立こども園の2か所とさせていただく。

- ・ (事務局) 2日目の行程についてはいかがか。
⇒ (副会長) セミナーに合わせて後で決めるのはどうか。
⇒ (事務局) どのような家を訪問するかは、事前にチラシに記載したい。
⇒ (副会長) お宅訪問がベストだが、コロナ禍で難しい。店舗訪問がよいのでは。
⇒ (委員) 空き家に拘らず、検討してもよいと思われる
⇒ (事務局) 委員から紹介いただく人の中から、お願いできそうなところにアポを取る。

(3) その他

- ・ 出演者を紹介していただいた方は、セミナーやツアー等にも出席いただくのでご了承ください。
- ・ ゲストの推薦や訪問宅(店舗)の紹介は、今週中までをお願いしたい。
- ・ 今後、セミナーやツアー関係の連絡はメールで調整させていただく。

4 閉 会

以上